

(様式 4)

公共事業再評価調書

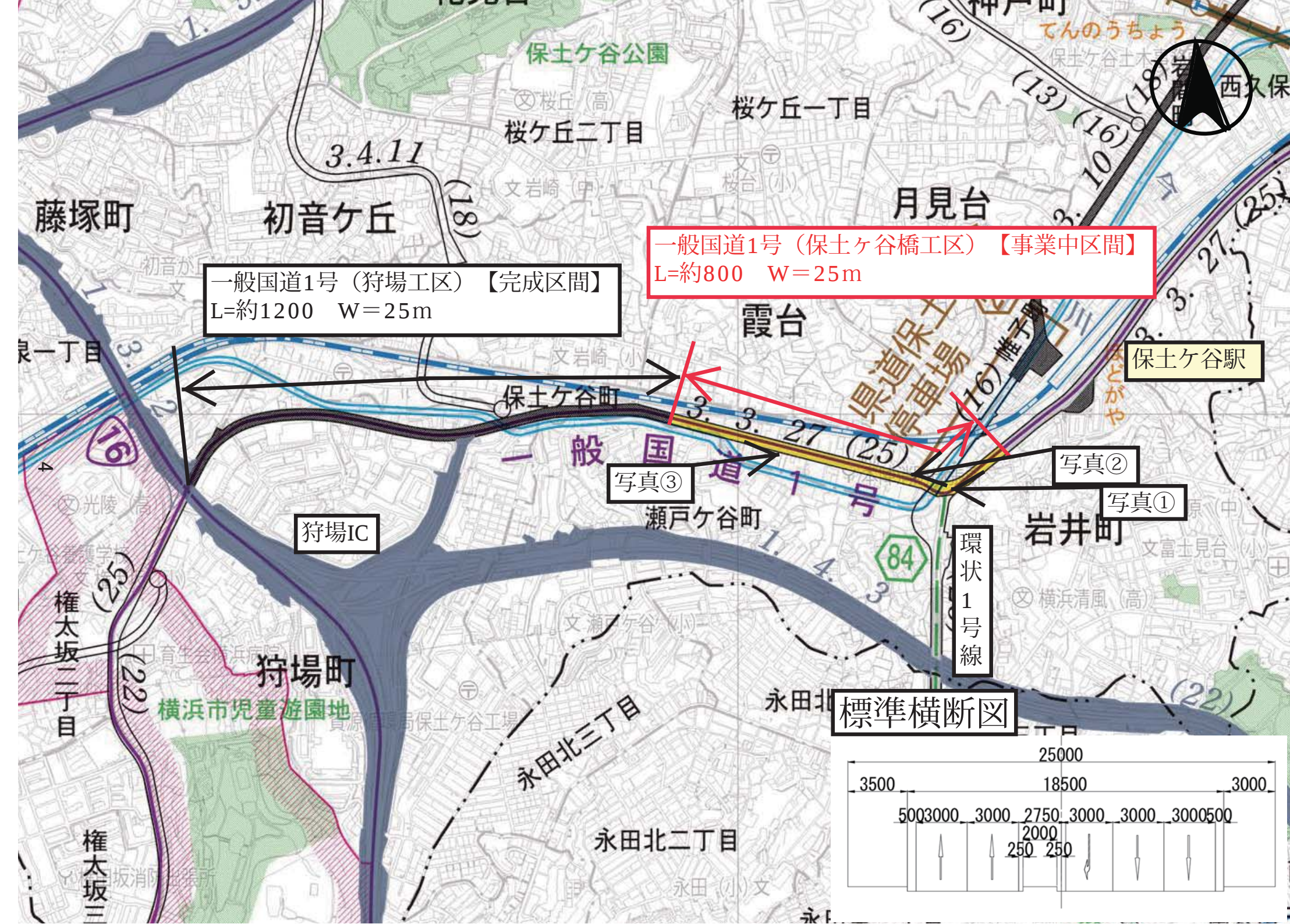
番 号	【道路-3】		事業担当局課	道路局	建設課
事 業 名	一般国道 1 号（保土ヶ谷橋工区）				採択年度 平成 21 年度
施工場所	保土ヶ谷区岩井町から保土ヶ谷町二丁目				経過 年数 15 年
目的及び 事業概要	目的 一般国道1号は、東京都中央区を起点とし、大阪市に至る実延長約 717km の主要な幹線道路です。そのうち、西区浜松町から戸塚区汲沢町までの約 14km が横浜市管理区間となっています。 保土ヶ谷区の保土ヶ谷橋交差点付近から一般国道 16 号(保土ヶ谷バイパス)狩場ICまでの区間は、横浜市内でも特に交通が集中し慢性的な渋滞が発生しているため、整備済みの狩場工区に引き続きこの区間を整備することにより、交通流の円滑化を図ります。 事業概要 計画延長 800m、幅員 25m(往復5車線)、用地面積 4,100 m ² うち、橋梁部(二級河川今井川渡河部) 橋長約 10m ※保土ヶ谷橋架替				
			当 初(事業採択時)	変 更(令和元年度)	変 更(令和6年度)
	事業期間		平成 21 年度～平成 27 年度	平成 21 年度～令和 9 年度	平成 21 年度～令和 14 年度
	事業費	合 計	4, 000 百万円	4, 000 百万円	4, 000 百万円
		国 費	2, 000 百万円	2, 000 百万円	2, 000 百万円
		市 費	2, 000 百万円	2, 000 百万円	2, 000 百万円
		内 訳	用地補償費 1, 200 百万円 測量設計費 500 百万円 工事費 2, 300 百万円(うち、橋梁部 1, 800 百万円)		
	変更内容		(1)事業期間の変更 事業用地の確保に時間を要していること、河川管理者との協議の結果、工事期間の見直しをしたことにより、事業期間を延伸する予定です。 (2)用地面積の変更:なし (3)事業費の変更:なし		
	上位計画等		横浜市中期計画の施策の一つである「交通ネットワークの充実」において、都市計画道路の整備率は指定都市の中で最低の水準にあり、慢性的な道路渋滞をもたらす要因になるなど質・量ともに不十分な状況とされています。市民生活の利便性向上には、引き続き、都市計画道路の整備を行い、市内道路ネットワークの形成を進める必要があります。 本事業により道路拡幅及び交差点改良を行うことで、交通流の円滑化を図ります。		
	関連事業		今井川改修工事、東海道の歴史的資源を活かしたみちづくり整備計画(案)		

事業の 必要性	事業を巡る 社会経済情 勢等の変化	令和2年度より国庫補助事業(空港・港湾等アクセス道路)に指定されており、横浜港と本市内陸南部工業地域を結ぶ重要道路に位置付けられています。先行して整備が完了している一般国道1号(狩場工区)と接続することで、保土ケ谷橋交差点から狩場 IC までの交通の利便性向上や交通機能の強化を図る事が出来るほか、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能も発揮されます。また、事業工区に架かる保土ケ谷橋については、交差する今井川で進められている河川改修工事(橋梁区間:令和12年度完了予定)に合わせて架替え・拡幅することで、近隣住民や交通への負荷を軽減する事ができます。		
	事業の 投資効果 ・ 事業効果等 (費用便益分析等)		事業全体	残事業
		割引率	4 %	—
		総便益(B)	196.0 億円	—
		総費用(C)	36.0 億円	—
		費用便益比 (B/C)	5.4	—
		感度分析 [交通量-10%]	5.3	—
		[定性的効果] 保土ケ谷橋交差点付近から一般国道16号(保土ケ谷バイパス)狩場ICまでの区間を整備することにより、交通流の円滑化と沿道環境の改善が図れるとともに、災害時の緊急輸送路としての効果が期待できます。		

事業の進捗状況	事業進捗率%	事業規模が大きい中で、橋梁架け替えを伴う交差点改良を先行して進めています。橋梁架け替えに必要な用地は全体の 10% であり、一部の用地について交渉を継続しています。なお、残りの用地は、橋梁工事着手後並行して進める計画としています。 河川管理者や交通管理者との協議とあわせて、架け替えに必要な地下埋設物事業者による支障物の移設工事も進めています。
	22%	
	用地取得率%	
	8%	
	供用等の状況	
	-	
事業の課題 及び 進捗見込み	本地区は、常時交通量の多い区間のため、保土ヶ谷橋の架け替え工事においても通行止めをせずに施工を行う必要があり、入念な施工計画の検討等が必要です。安全に工事を進めることができるよう交通管理者との協議を進めます。 今後の河川改修に合わせて、保土ヶ谷橋の架け替え工事を実施していく予定のため、橋梁架替工事に必要な用地を優先的に確保していく必要があります。橋梁区間については、4件／6件の用地が取得済みであり、残りの用地についても早期取得を目指して交渉を進めます。 また、道路拡幅区間については、100 件以上の用地取得が必要ですが、昭和 21 年度に都市計画決定された路線であり、マンション等の沿道建物がセットバックされていることから、移転等の調整が必要な路線に比べ用地取得を円滑に進めることができます。現在は、橋梁工事と並行して用地交渉を進め、道路拡幅部を含め令和14年度の事業完了を見込んでいます。	
その他 (コスト削減項目等)	舗装、構造物の築造等については、設計の段階から可能な限り工事費の削減に努めるとともに、長寿命化の検討を行い、維持管理費の削減に努めます。舗装、構造物の基礎等について再生材を使用する等、可能な限りコスト削減に努めます。	
その他	—	
添付資料	有・無	
対応方針	継続	計画通り(上記計画を実施)※ 1
		一部見直し(上記計画を変更)※ 2
		【見直し内容】
	中止	
対応方針 とした理由	隣接する狩場 IC 区間の整備が完了しており、当該事業区間を整備することにより、保土ヶ谷橋交差点付近まで連続して整備することができ、交通の円滑化や災害時の緊急輸送路としての機能強化などの整備効果を発揮できます。 また、交差する今井川の河川改修工事と同時に保土ヶ谷橋の架替え工事を行うことで、近隣や交通への影響を最小限にとどめ、効率的な施工を行なうことができます。用地取得に時間を要していますが、事業の効果は十分有しており、継続して実施する必要があると判断しています。	

※ 1：既に見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。前の再評価で「継続(一部見直し)」の事業についても、その見直し内容が確定している場合は、こちらを選択してください。

※ 2：今後、見直しを行うことが確定している事業は、こちらを選択し、見直し内容を記載してください。





事業区域

歩道

歩道



歩道

事業区域

歩道



歩道

事業区域

歩道

広告主募集
045-314-9797

多摩千歳

路線名	一般国道1号(保土ヶ谷橋工区)
-----	-----------------

(単位:円)

	事業費			本工事費		測量設計費		用地・補償費					その他
	単年度	累計		単年度	累計	単年度	累計			単年度	累計		
21年度	30,700,000	30,700,000	0.8%	0	0	30,700,000	30,700,000	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
22年度	13,941,900	44,641,900	1.1%	0	0	13,941,900	44,641,900	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
23年度	25,742,888	70,384,788	1.8%	0	0	25,742,888	70,384,788	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
24年度	7,250,250	77,635,038	1.9%	0	0	7,250,250	77,635,038	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
25年度	6,300,000	83,935,038	2.1%	0	0	6,300,000	83,935,038	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
26年度	3,780,000	87,715,038	2.2%	0	0	3,780,000	87,715,038	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
27年度	3,024,000	90,739,038	2.3%	0	0	3,024,000	90,739,038	0	0	0.00m2	0.00m2	0.0%	
28年度	107,558,400	198,297,438	5.0%	0	0	11,556,000	102,295,038	96,002,400	96,002,400	123.08m2	123.08m2	3.0%	
29年度	20,445,480	218,742,918	5.5%	0	0	20,445,480	122,740,518	0	96,002,400	0.00m2	123.08m2	3.0%	
30年度	31,056,000	249,798,918	6.2%	0	0	11,856,000	134,596,518	19,200,000	115,202,400	35.68m2	158.76m2	3.9%	

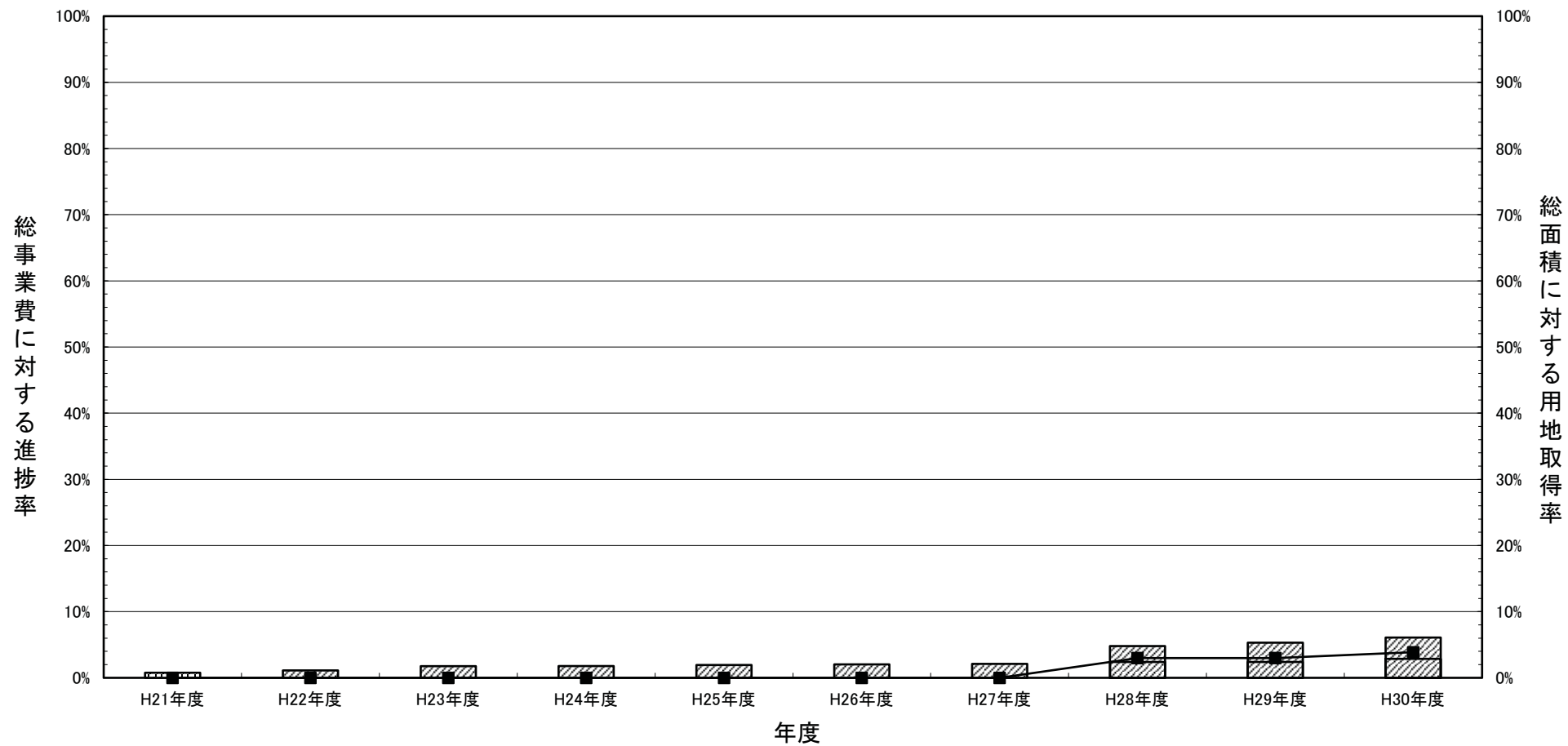
8

※ 1事業進捗率(合計)は全体事業費(様式3参照)に占める各年度までの用地補償費と工事委託費の和

※ 2用地取得率は事業全体の取得面積(様式3参照)に占める各年度までの取得面積の割合

事業費の推移

用地費
 工事費
 用地取得率



前回評価内容との比較 一般国道 1 号（保土ヶ谷橋工区）

	前回（H20）	今回（R1）	11 年間の経過
事業を巡る社会経済情勢等の変化	一般国道1号（狩場工区）の事業完了に伴い、車線数が不足している保土ヶ谷橋交差点付近は、渋滞に拍車がかかる事が予想されるため、本地区の整備による道路ネットワークの形成の重要性がより高まっています。	事業工区に架かる保土ヶ谷橋については、交差する今井川の改修工事が進んでいることから、工事時期を合わせて架替え・拡幅することで、近隣や交通負荷の軽減が図られるとともに、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としての機能も期待されています。	保土ヶ谷橋は健全度を維持しているものの、供用後約 90 年が経過しており、緊急輸送路に架かるため、早期に架け替えを行う事で、災害時の交通機能の確実性が求められています。
事業進捗率	0%	6%	+6%
用地取得率	0%	4%	+4%
供用等の状況	—	—	—
B/C	3.7	3.3	-0.4
事業の進捗見込	事業実施にあたっては、周辺地域の方々を対象に事業着手年度に事業内容や測量及び調査実施等の説明会を開催します。 事業説明会後に事業着手し、現道拡幅事業を実施するための、沿道用地取得等を行い、平成 27 年度までに完了する事を目標に進めていきます。	本地区は、常時交通量の多い区間のため、保土ヶ谷橋の架け替え工事においても通行止めをせずに施工を行う必要があります。入念な施工計画の検討等が必要です。 令和 4 年度の河川改修に合わせて、保土ヶ谷橋の架け替え工事を 5 か年かけて実施していく予定です。	保土ヶ谷橋の架け替え工事を先行して実施していくため、用地交渉においても該当箇所を集中的に交渉しております。分筆や土地・建物調査にに応じている権利者もあり、今後も未買収の用地交渉を進めていきます。